

第30回スカイツリーライン薬物療法研究会

STLAP研究会

【日 時】 2024年 1月 23日 (火) 19:10~20:50 (18:50 受付開始)

【開催方法】 Zoom ウェビナー配信 (事前の参加登録をお願いします)

【会 費】 500円 (看護師など無料: 事前申し込みが必要ですので裏面を参照して下さい)

テーマ:乳がんの最新治療と心のケアについて

乳がんは女性の罹患率が第1位のがんとなっております。昨今乳がんの薬物療法は目まぐるしく変化し、治療成績も向上しています。一方で、残念ながら治療効果が得られなくなり、亡くなる患者さんも多くいます。今回の研修会では最新治療を学ぶだけでなく、患者さんのケア、家族のケア、「燃え尽き症候群」などの医療従事者の心のケアなどの観点で研修会を企画しました。乳がん患者さんの治療から看取りまで幅広く学びましょう

STLAP研究会 とは

東武スカイツリーライン・伊勢崎線沿線の埼玉県東部地域における病院・薬局薬剤師の連携強化を図るために本研究会を発足しました。薬学生や他の地域からのご参加も大歓迎です。ぜひ、ご参加下さい。



19:00~19:10 製品紹介

中外製薬株式会社

19:10~19:00 Opening

STLAP研究会 代表世話人/草加市立病院 薬剤部長 木村 直也 先生

19:20~20:10 座長 STLAP研究会 羽生総合病院 薬剤科 川田 亮

19:20~19:30

『乳がん化学療法時の心毒性に関するワンポイント』

春日部中央総合病院 薬剤部 佐藤 拓行 先生

19:30~20:10

『HER2陽性乳がんの最新のTOPICS(仮)』

獨協医科大学埼玉医療センター 乳腺科 准教授 丹羽 隆善 先生

20:10~20:50 座長 STLAP研究会 草加市立病院 薬剤部 伊藤 剛貴

『【生きる】という痛みの処方箋』

ルーテル津田沼教会 / 中村クリニック 牧師 関野 和寛 先生

【共 催】 STLAP研究会 (一社)加須市薬剤師会 中外製薬株式会社

【参加申し込みについて】

参加ご希望の方は下記に従って、いずれかの方法で必ず事前申し込みをして下さい。

締切は、**2024年1月21日(月)13:00** ですのでご注意下さい。

本研究会では、**薬剤師は**参加申し込みと参加費の支払いに【Peatix】というイベント開催のシステムを利用しています。参加登録の際に、Peatixへの登録などが必要になりますのでご了承ください。登録は無料になります

●2次元コードからお申し込みの場合

右記2次元コードを読み取っていただき、リンク先のサイトよりお申し込みください

参加申し込み用2次元バーコード ↓ 直接リンク→

<https://peatix.com/event/3798966/view>

薬剤師以外の2次元コード



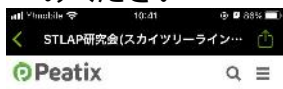
薬剤師の申し込みはこちらになります。薬剤師の申し込みは、Gコードをご利用ください。

薬剤師以外の**医師・看護師**などはこちらから読み取ってご入力ください・Peatixは使用しません



●インターネット上で検索する場合

検索サイトで【peatix STAP研究会orスカイツリーライン研究会】と入力し、リンク先よりお申し込みください



STAP研究会(スカイツリーライン薬物療法研究会) Sky-Tree Line Association of Pharmacotherapy

グループをフォロー



STAP研究会(スカイツリーライン薬物療法研究会) Sky-Tree Line Association of Pharmacotherapy

開催予定のイベント



ログイン後、STAP研究会のページを下にスクロールしていくと、**第27回研究会**の詳細があるので**クリック**します



第30回研究会のページより、**チケットの申し込み(参加登録)**を行ってください。

※複数枚の購入が可能ですが、**1人1枚**でお願いします。

オンライン参加の出席確認について: Web研修会にて発行されるキーワードを全て当日中に所定のフォームに入力し送信して下さい。キーワードが合致しない場合、ならびに当日中に送信・登録が確認できない場合は受講・出席は認められませんのでご注意下さい。なお、Zoom視聴によるID個人名が確認できない場合には受講は認められず、単位の送付はない場合がありますのでご注意ください。

受講単位について: 薬剤師研修センターの単位は、PECS(薬剤師研修・認定システム)の登録が事前に完了していないと、受講単位が付与されませんのでご注意ください。また90分のログも必要になりますのでご注意ください

日本緩和医療薬学会の単位に関しては、所定のフォームにて709から始まる10桁の会員番号を入力していただいた方で当日参加の確認が取れた方に発行いたします

個人情報の取扱いについて: ご視聴に際し入力頂いた内容をもとに、製品に関連する情報の提供・収集を実施させて頂く場合がございます。これ以外には個人情報の利用、もしくは第三者への提供は致しません。

医薬関係者※以外の参加はご遠慮いただいております。

※主として医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、臨床心理士等の医療専門家(医学部・薬学部等の学生を含む)及び医療施設において医療に従事する職員

ご不明な点は、【代表世話人 木村直也(草加市立病院 薬剤部)】(naokimura3310@gmail.com)宛までメールをお願い致します。

講師：関野 和寛 牧師

病院チャプレン

ルーテル津田沼教会牧師



Photo

ルーテル津田沼教会牧師。東京生まれ。

青山学院大学国際政治経済学部を卒業。

障害を持つ妹の命の危機を前に牧師になることを決意。日本ルーテル神学校に学び香港ルーテル神学校宣教牧会博士課程修了。

2006年より新宿新大久保のルーテル東京教会の牧師として14年間勤務。

2020年、パンデミック下のアメリカに渡り、1年間ミネソタ州アボットノースウェスタン病院でチャプレン（病院付き聖職者）としてコロナ病棟、精神科病棟の患者の看取りや心のケアに従事。

牧師4人組によるバンド『牧師ROOCS』のリーダー。

皆さん、チャプレンってご存知ですか？

病院や施設などで働く聖職者をチャプレンと言います。アメリカの病院の約6割にチャプレンがいて、患者さん、ご家族、スタッフのケアをしています。

身体の病だけではなく、患者さんには心の苦しみがあります。

病気によって仕事やこれまでできていた事ができなくなったり、人間関係が希薄になったりと様々な孤独があります。

その中で、時間に制限がある医師や看護師だけではその苦しみに耳を傾ける事ができません。そんな時チャプレンが30分でも1時間でも時間をかけて患者さんに寄り添い、様々な苦しみを聴いたりしています。

なかなか聞く機会のない話が聞けると思いますので是非楽しみにしててください

関野さんが作成したチャプレンの動画です。ぜひご覧になってください。ここをクリックすると閲覧できます。人生最後の看取りを行う宗教者、チャプレン物語-Japanese Hospital needs a Chaplain-

病院で心のケアをする
聖職者「チャプレン物語」
Introduction of Japanese Clinical Chaplain



人生最後の看取り